

# 希望

石川珠名

現在、世界は新型コロナウイルスの渦に呑み込まれている。未だコロナの特効薬は開発されておらず、世界中で今もなお多くの人が苦しんでいる。新型コロナウイルスの感染を防ぐ為にマスクをしたり、人との密を避けたりと新しい生活習慣が生まれつつある。そんな習慣に慣れつつある人もいれば、それとは裏腹にコロナウイルスが原因で職を失った人、差別を受けた人、自粛生活のストレスで精神が病んでしまった人などがおり、世界中で大きな影響をもたらしている。【今を生き抜く力】とは、なんだろうか。

新型コロナウイルスという言葉がニュースで聞かない日がない位、今もなお欧米を中心に終息の兆しが見えない。そんな中私は、あるニュースに怒りを覚えた。それは、人権問題である。感染者のみならず、医療従事者の子供や家族への偏見、クラスターが発生した介護施設、学校、飲食店、会社など例を挙げればきりが無い。犯罪を起こしたわけでもないのに、こぞって批判をすることは、絶対にあっては行けない。私は、このようなことが起こるのは、正しい情報でなく、間違った情報を鵜呑みにして流れてしまうことが原因なのではないだろうかと思った。だからこそ、新聞やテレビなどのメディアは大げさに報道したり、不安を煽るような情報の拡散はしては行けないと改めて感じた。その反面、新型コロナウイルスが流行ったからこそ学んだこともある。例えば、学校で言うとオンライン授業、会社で言うとリモートワークが発達した。私の学校では、早い段階からオンライン授業と対面授業を併用することで授業をスムーズに進めることが出来た。最初は、戸惑いもあったが、オンライン授業でも十分に理解することが出来たし、感染リスクを犯してまで外出する必要がなくなったので安心することが出来た。しかしながら、友達や学校の先生と直接に会話をすることは、学校ではないと出来ないので一日も早く新型コロナウイルスが終息して欲しいと感じていた。自粛が解除され、学校が始まるとやはり楽しさは何倍にもなった。画面越しでの対話よりも直接会って対話することの大切さを感じた。いつかマスク無しで友達と笑いあえる日が戻ることを心から望んでいる。

正直なところ、新型コロナウイルスがここまで長引くとは思ってもみなかったし、最初は高齢者や病弱な人だけの問題であると考えていた。しかし現実とは全く異なり、いつ・どこで・誰がなってもおかしくない恐ろしい感染症であった。これまでも、コレラやマラリア、スペイン風邪など人間の存在をおびやかすような感染症があったが、人間は必ずそれらの感染症に打ち勝ってきた。試行錯誤しながら対策法を生み出したり、新薬の開発、新しいビジネスも生まれつつある。そして一番重要なのが一人ひとりが感染症への理解も深めていることだ。だから今回も必ず、壁を乗り越えるだろう。私には、目標がある。近い将来、医療系の大学に進学し、医療を学び社会に貢献する看護師になりたい。幼い頃からそのような夢を持っていたが、今回の一連のコロナ騒動を通じて、より確かなものになった。今後も新たなウイルス、病気が出てくるであろう。そんな時に【希望】を与えられる強い存在になろうと思う。

今から一年前、世界の誰が今日の状況を想像出来ただろうか。生きていたら、嬉しいこともあるが、悲しいことも辛いこともたくさんある。でも、その壁を乗り越えて自らの目標に向かって突き進んでいく、それこそが【今を生き抜く力】なのではないか。